



1/13 成人の誓い

新成人227人が参加し、市民文化会館で成人式が行われました。勇壮な白浜太鼓の演奏で始まった式典では、式辞、祝辞に続き、新成人を代表し鈴木裕太さんと土屋佑果さんが、「成人となったこの日を喜び、家族、社会のすべての人に感謝し自分を大切にします」など5つの成人宣言を力強く宣誓しました。



1/4 防火・防災の決意新たに

下田市消防団出初式が下田小体育館で団員222人の参加のもと行われました。市長式辞、団長訓示、各種表彰が行われ、終了後には、消防車両と分列行進により旧町内をパレードし、防火をPRしました。市民の生命・財産を守るため、日々精進を続ける消防団のみなさん、今年もよろしくお祈りします。



1/16 明るく安全なまちに

東京電力(株)より防犯灯40基が市に寄贈されました。防犯灯は、安全・安心な地域社会のためにと、毎年寄贈していただいているもので、市では、老朽器具の付け替え等に使用させていただく予定です。



1/17 いきいき下田演芸大会

いきいき下田(下田市老人クラブ連合会)の演芸大会が市民文化会館で開かれました。各老人クラブから66組の皆さんがステージに立ち、歌や踊りなどを披露。観客も一緒に楽しい一日を過ごしました。



12/22~23 下田南高ラストイヤーのサウスショップ

下田南高校としては最後となるチャレンジショップが、伊勢町にオープン。これから社会に出る生徒達は、色々な人に支えられ職業体験をし、地元商店街を身近に感じる大変良い機会となったようです。

- 4日 消防団出初め式
- 11日 蓮台寺湯権現例祭
- 12・13日 下田水仙ツデーマーチ
- 13日 成人式
- 15日 静岡地方税滞納整理機構設立

1月

- 17日 いきいき下田演芸大会
- 20日 第9回下田オロシヤ祭
- 21日 伊豆つくし学園地鎮祭
- 27日 第36回河津下田間駅伝競走大会
- 31日まで 水仙まつり

下田市内の指定文化財(その3)

下田市指定史跡

深根城址

所在地 堀之内

指定日 昭和51年5月27日

下田市箕作地区と堀之内地区の間を流れる稲生沢川には深根橋という名の橋が架かっています。この橋に立って南東側を望むと、緑に包まれた山々を見ることが出来ます。山の中腹には広い平らな場所があり、辺り一帯が深根城址と伝えられています。



深根橋付近から見た深根城址 (画面中央が城址)

深根城は、室町時代にこの地を支配した有力者の城館跡と考えられていますが、記録

が少なく、築城された年代を含め、多くの謎につつまれています。唯一の記録である戦国大名後北条氏の軍記物『北条五代記』には、北条早雲が伊豆に侵攻した際、それに抵抗した関戸氏が籠もって戦ったと記されています。

明応2年(1493)、室町幕府の関東出先機関の一つであった伊豆堀越公方現伊豆の国市葦山(の跡目争いの混乱に乗じた北条早雲は、実力で伊豆の支配に乗り出しました。多くの伊豆の武士達は早雲の勢いに圧倒され、降伏し家臣となりましたが、その中で正面から早雲に抵抗し、戦いを挑んだのが稲様の代官であったと考えられる関戸一族でした。

関戸播磨守吉信は、7百名ほどの将兵とともに深根城に籠もり、早雲の来襲に備え防御を固めました。松崎に上陸した早雲は2千人あまりの強力な軍勢で、山を越え深根城に迫ると、周辺の民家を壊し、その部材で堀を埋め、城に攻め入りしました。関戸吉信

自身も長刀を手に奮闘しましたが、明応7年8月末、ついに落城し、捕らえられた城兵だけでなく、女子供や法師までも一人残らず首を切られ、城の周りに晒されたと伝えられています。

一説には堀越公方の後継者をめぐる異母兄弟と争った足利茶々丸も関戸吉信とともに深根城に籠って戦い、討死したといわれています。深根城西方の山中には、地元の人々から御所の墓と呼ばれ、茶々丸夫妻の墓と伝えられている石塔が現在でも残っています。



御所の墓(足利茶々丸墓)

アクセス 伊豆急下田駅より松崎方面バス箕作郵便局バス停下車徒歩15分
問合せ先 教育委員会生涯学習課

☎5055

樹の葉 vol.71

新年は下田八幡神社の元旦祭から始まりました。毎年、楽しみにしている碓氷宮司のお話しを紹介いたします。「平成20年の干支は『戊子』です。『子』という字には『しげる・ふえる』という意味があり、新しい生命が萌え出でることを表しています。子年は大きな変化の始まりの年といわれています。また、その中でも『戊子』歳は、じっくりと腰を据えて目的に向かい行動を開始する年。堅実の原則を守り、奇抜な方策は不要であり、緻密な思考力と先見性をもって正道を守り、良い意味での変革、改革を必要とする年であり、平穏でありさらに新たな発展に向かう年であられるよう祈念申し上げます」と話されました。

私は『仕事始め式』と『賀詞交歓会』で、昨年は、偽が踊った一年でありました。今年、まず願うのは、『まこと』の一年であって欲しいというところであります。『まこと』には真と誠があり、誠心誠意の『誠』。下田市民として、この言葉をしっかりと念

頭におき、打算的な考えをもち、まごころをこめ相手に接する心をもって頑張りましょう!」と呼びかけました。

本年は1市3町の合併が大きく進んでまいります。先月には4人の首長で、石川知事に合併に対する合意の報告と支援のお願いに行っていました。平成22年3月の新市誕生に向かって、各市町議員皆様のご理解を得て法定合併協議会設置議案の議決をいただき、4月に法定合併協議会を設置して協議を開始したいと思っております。合併へ向かっている協議が始まりましたら、市民説明会を各地で開催していく予定でありますので、その節には多くの皆様のご参加をお願いいたします。

財政の立て直し、合併問題、来遊客の増加施策、下水道接続率の向上、福祉関係、焼却炉の改修、防災と課題は山積いたしておりますが、皆様方のご協力を得ながら全力投球してまいりますので、本年もお力添えをお願いいたします。



下田市長 石井直樹